

分科会活動

分科会は会員の発案によるテーマに基づき発足するもので、活動を通じて経営や業務遂行上の課題をより専門的、実質的に議論しています。2025年度は下記の9分科会により活発な活動を継続しています。専門的なトピックスについて外部講師を招いた講演会も開いています。

2025年度 分科会活動履歴 (2025年7月 ~ 2026年6月)

分科会名	目的	主な活動	2025年度 参加会員数/人数	2021年度以降の 延べ参加会員数/人数
調査業務運営分科会	各社の調査事業概要や討議テーマ(課題)に関して意見交換・情報交換を行い、課題解決策を見つけ出す	合計5回・26件の集中討議開催、特許庁との意見交換会、外部有識者による講演会	9会員 9名	51会員 51名
調査技術分科会	調査手法や調査ツールに関する情報・意見交換や調査演習等を通して、知見を広げるとともに調査スキルと調査品質向上に貢献する	調査手法・ツールに関する情報・意見交換、特許検索競技大会の過去問演習、特許庁及びINPITと意見交換会に有志が参加	8会員 9名	40会員 42名
知財分社経営分科会	各社の知財分社経営特有の課題と取り組みについて意見交換を行い、経営に資する情報共有および気づきが得られる場を目指す	4グループ×2ラウンドの経営課題に関する意見交換と2回の全体まとめ討議、外部有識者による講演会	17会員 17名	88会員 89名
コーポレートサポート分科会	人事処遇制度・人材育成・情報インフラ等の業務全般に関する共通課題に対し、広く意見交換することにより各社施策立案の一助とする	DX・経営リスク・法改正等に関する各社の対応、及び、展示会等で収集した最新情報について情報共有・意見交換	7会員 7名	39会員 39名
特許情報研究分科会	特許情報に関する最新情報の収集と分析・活用の研究を行い、分科会参加者の知識向上を図り、業務改善等に寄与する	特許情報・データの観点から、分類情報や審査経過情報を利用する際に注意すべき点に関して、情報共有とディスカッションを実施	9会員 9名	48会員 57名
新興国の知財調査分科会	新興国の知財情報を共有し、各国の調査データベースの特徴を把握して効率的なパテントクリアランス調査方法を探求する	ASEAN各国の特許情報のポータルサイトとなるASEAN IP REGISTERの使い勝手や他の国別・商用DBとの優劣を評価した	4会員 5名	25会員 29名
Z・ミレニアル世代の若手による 意見交換分科会	自由な意見交換、課題共有化とその対応策の議論により、各自の視野の拡大、考える力の向上を図り、各社の活性化に貢献する	メンバーの担当業務を紹介しながら、業務上の課題から悩みまで率直に会話し、アドバイザーの助言も入れて、意見交換を行っている	5会員 5名	20会員 24名
IPランドスケープ研究分科会	「経営・事業情報に知財情報を組み込んだ分析手法」について情報交換・意見交換を行い、各社IPランドスケープの取り組みに貢献する	IPランドスケープに関する各社の取り組みを持ち回り発表して意見交換。最新の分析ツール情報習得、外部有識者による講演会を開催	4会員 5名	43会員 48名
特許翻訳分科会	特許明細書の翻訳に関し、機械翻訳の利用可能性について品質面・効率面の側面から具体的な方法について共有と討議を行う	これまでの機械翻訳に加えて、生成AIを特許翻訳にどのように利用するか、その可能性や妥当性について検証している	11会員 13名	55会員 65名